

骨盤のゆがみの分類

→ ※右にいくほど骨盤の状態は悪くなっていきます。

分類	カテゴリー I	カテゴリー II	カテゴリー III
骨盤の状態	骨盤が左右でねじれた状態 	骨盤の体重受け部が不安定な状態 	骨盤が体重を支えきれずに腰椎で体重を受けている状態 
主な症状	軽い喘息, 皮膚病 アトピー, 肌荒れ 臭覚異常, 体重の問題 内臓障害, 顔面のしびれ 四肢のしびれ 不眠症, イライラ感, 発作 けいれん, アキレス腱痛 ぼ～っとする 何となくだるい アレルギー全般	腰痛（鈍痛）, 立つ時に痛い 肩こり, ひざ痛, 背部痛, 足首痛 股関節痛, 吐き気, めまい, 失声 頭痛, 知覚マヒ, 生理痛, 便秘 アゴ痛, 斜頸, 寝返り困難, 首肩痛, むち打ち 原因不明の疲労感 不定愁訴, 下肢前外側痛, 筋ケイレン 膀胱障害	腰痛（腰椎性） 座骨神経痛 （下肢の痛みや痺れ） 椎間板ヘルニア 急性腰痛性 （ぎっくり腰） 身体傾斜 （真っ直ぐに立てない） ひどい後頭部痛（反射性）
施術に要する期間	週に1～2回の施術が必要	週に1～2回の施術が必要	3日おきに施術が必要 ※急性の場合は毎日（3回ほど）

※施術のプログラムは、きちんと守らないと症状は消えてもすぐに再発してしまい、それを繰り返すとさらにひどい症状になってしまいます。
そのためどんな症状でも**最低6回程度**の施術は必要となります。